

令和2年度 社会福祉法人石脇福社会 事業報告書

【総括】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、感染力の強いと言われる変異ウイルスの出現により重症者数が連日過去最高を更新するなど、医療現場の逼迫状態が改善しないまま、4月には都市圏をはじめとする地域に三度目の緊急事態宣言発令と延長措置をしたにも関わらず、未だ収束の兆しが見えません。県内でも、病院や高齢者施設、さらには保育現場までクラスターが発生するなど予断を許さない状況が続いております。

こうした影響は経済活動の落ち込みに留まらず、東京オリンピックの開催に向けても大きな課題を抱えることになっています。

また、コロナ禍での出生を避ける傾向も出ているとのことから、昨年90万人を割り込んだ出生者数が、今年は85万人を切るのではと予想され、歯止めの効かない少子化の状況に懸念が示されています。

本市においてもワクチン接種が始まっておりますので、全市民が速やかに接種を終えられて、一日も早く安心して暮らせる日常を取り戻したいものです。

さて、石脇福社会は、昨年、創立50周年という記念すべき年を迎えました。あいにくコロナ禍で、式典や祝賀会の開催はかないませんでした。石脇財産区のお力添えにより記念誌を発刊し、先人が築き上げてきた歴史と伝統の重みに思いを巡らしながら、今後の持続可能な法人の経営体制確立の重要性を改めて実感したところです。

基本理念をはじめとする中長期計画の職員への周知については、幹部職員の研修会を実施し説明会を実施したものの、一般職員の理解を得るところまでは至っておりません。

また、「職場環境の整備と人材育成」に関しては、「働きやすい職場づくり」を確立していくのが重要な課題と位置付け、各施設においても職員会議やミーティングなど内部研修の機会を捉えて職員に発信してきたところです。職員にとっては、まだまだ、保育の質向上に向けた枠組みから抜け切れず、働きやすい職場づくりのためにどうあるべきかという基本課題への意識が不足しているように思われます。

一方で、コロナ禍もあり、行事の持ち方一つとっても職員と意見交換しながら進めていくことができ、職員自身も参画しているという意識が芽生えたように感じております。

また、職員それぞれの立場での役割分担についても、意識の変化が見られるようになりました。それは、施設長をはじめとする幹部職員たちが真摯に職員に向き合ってきたことや取り組んできた研修の成果だと思われ、

具体的な業務見直しの中で、4月から本格運用を開始した「保育支援システム」は活用していけるか心配しましたが、思いのほか職員の習熟も早く、今後さらに事務作業

の軽減に効果が出てくれることを期待するものです。

「体系的な人材育成システムの策定」という面では、コロナ禍で、殆どの外部研修ができなかった分、研修委員会が中心となり法人内の研修の充実を図ることができた1年でもありました。

園組織を支えるリーダーの育成を図るための職務別リーダー研修、若手職員と育成に当たる職員のフォロー研修、他の園を訪問しての公開保育や保育・給食体験実習など、系統立てて掘り下げた研修が確立されてきております。

「持続可能な経営体制の確立」としては、利用定員の見直しを行ったことにより、一部改善の兆しもありますが、次期見直しに向け、さらに検討が必要かと思われます。

ただ、少子化が加速していることもあり、定員の見直しに留まらず、施設設置のあり方と改築等の整備の見直しについての検討は、長期計画の位置付けから、中期計画に前倒しした協議も考えているところです。

法人の持続性で重要となる「財務の健全性」を担保する積立金の構築については、各施設の目標額を検討することとしていますが、決算にあるように、取り崩しの補填も含めて1,640万円を措置し、2億8,400万円ほどの残高を確保したところです。

しかしながら、現行の制度と入所児童の現状では、目標額を設定していくのは困難であり、一時的な給付のあり方から、地域の実情に合わせた制度の根本的な見直しを行政に訴えていくことも必要です。国では、これらの解決策として法人の合併・統合を進めようとしている動きもありますので、引き続き注視していかなければなりません。

「安定した法人経営」の一環として、地域への情報発信手段であるホームページの充実と効果的な活用については、これまでのシステムをWeb方式にバージョンアップして環境を整えたところですが、各施設の編集や更新が追いついていない現状でありますので、早急に進めてまいります。

このように、昨年3月に策定した中長期計画に基づいた諸課題の具現化に向けて、初年度は、まず、出来ることから一つひとつ取り組みを始めたところであり、引き続き経営ビジョンに到達できるように、PDCAサイクルを機能させながら、重点目標に取り組んで参りたいと考えております。

【令和2年度事業実施内容】

＜会務の運営＞

- | | | |
|-----------|----|--------------------------------|
| 1. 定時評議員会 | 期日 | 令和2年6月30日 |
| | 会場 | 本荘グランドホテル |
| | 出席 | 評議員7名、理事3名、監事2名、 |
| | 内容 | 令和元年度事業報告及び計算書類等承認の件
(監査報告) |

2. 理事会

【第1回】

期日 令和2年6月15日
会場 由利本荘市職業訓練センター
出席 理事8名、監事3名
内容 (1) 令和元年度事業報告及び計算書類等承認の件
(監査報告)
(2) 経理規程の一部改正(案)承認の件
(3) 役員選任候補者の推薦(案)の件
(4) 令和2年度定時評議員会招集の件

【第2回】

期日 令和2年11月25日
会場 由利本荘市職業訓練センター
出席 理事8名、監事2名
内容 (1) 評議員選任・解任委員選任の件
(2) 理事長及び常務理事等の業務執行報告承認の件
(3) 職員就業規程の一部改正(案)承認の件
(4) 第1次資金収支補正予算(案)承認の件

【第3回】

期日 令和3年2月26日
会場 由利本荘市職業訓練センター
出席 理事8名、監事2名
内容 (1) 事務局長の雇用期間延長(案)承認の件
(2) 施設長の選任(案)承認の件
(3) 表彰規程の一部改正(案)承認の件
(4) 第2次資金収支補正予算(案)の件

【第4回】

期日 令和3年3月25日
会場 本荘グランドホテル
出席 理事8名、監事2名
内容 (1) 理事長及び常務理事等の業務執行状況報告承認の件
(2) 令和3年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)承認の件

3. 三役会議

【第1回】

期日 令和2年6月11日
会場 子育て支援センターあいあい
出席 理事長・副理事長・常務理事
内容 (1) 理事会提出議案について
(2) 50周年記念事業について
(3) 役員・評議員研修について

【第2回】

期日 令和2年7月9日
会場 子育て支援センターあいあい
出席 理事長・副理事長・常務理事
内容 (1) 園長・主任・副主任合同研修を終えて
(2) 50周年実行委員会について

【第3回】

期日 令和2年8月28日
会場 子育て支援センターあいあい
出席 理事長・副理事長・常務理事
内容 ○ 50周年記念事業開催について

【第4回】

期日 令和2年9月21日
会場 子育て支援センターあいあい
出席 理事長・副理事長・常務理事
内容 (1) 50周年記念事業について
(2) 令和3年度定期人事異動について

- 【第5回】 期日 令和2年11月18日
 会場 内越保育園
 出席 理事長・副理事長・常務理事
 内容 (1) 理事会提出議案について
 (2) 50周年記念事業決算報告会について
 (3) 令和3年度定期人事異動について
 (4) 役員・評議員の意向確認について
- 【第6回】 期日 令和2年12月25日
 会場 子育て支援センターあいあい
 出席 理事長・副理事長・常務理事
 内容 ○ 令和3年度定期人事異動について
- 【第7回】 期日 令和3年1月22日
 会場 子育て支援センターあいあい
 出席 理事長・副理事長・常務理事
 内容 (1) 令和3年度定期人事異動について
 (2) 役員・評議員の意向確認結果について
- 【第8回】 期日 令和3年2月10日
 会場 子育て支援センターあいあい
 出席 理事長・副理事長・常務理事
 内容 (1) 令和3年度定期人事異動について
 (2) 理事会提出議案について
- 【第9回】 期日 令和3年3月22日
 会場 子育て支援センターあいあい
 出席 理事長・副理事長・常務理事
 内容 (1) 理事会提出案件について
 (2) 辞令交付式について
 (3) 役員改選に向けた日程について

4. 監事会

期日 令和2年5月25日
 会場 子育て支援センターあいあい
 出席 監事3名、3役
 内容 監事監査の方針と分担について

5. 意見・要望等の相談解決に係る第三者委員会

期日 令和2年11月18日
 会場 内越保育園会議室
 出席 第三者委員3名、理事長・副理事長・常務理事・各園園長・主任
 内容 令和元年11月から令和2年10月まで、各園において受付した意見・要望について事例紹介をし、第三者委員よりアドバイスを受けたほか、対応のあり方などについて協議。

6. 石協福社会創立50周年記念事業実行委員会

期日 令和2年7月10日 令和2年9月10日
 令和2年11月25日
 会場 子育て支援センターあいあいほか
 出席 実行委員・理事長・常務理事
 内容 式典・祝賀会・記念誌・記念品・予算・決算などの協議

★記念誌編集委員会

・令和2年6月24日・令和2年7月3日・令和2年8月24日
 ・令和2年9月23日・令和2年10月13日

7. 五園園長会議

期日	令和2年 4月 7日	令和2年 5月12日
	令和2年 6月 8日	令和2年 7月 7日
	令和2年 7月30日	令和2年 8月 6日
	令和2年 9月 7日	令和2年10月 6日
	令和2年11月 5日	令和2年12月 8日
	令和3年 1月 7日	令和3年 2月 8日
	令和3年 3月 8日	

8. 五園主任会議

期日	令和2年 4月 8日	令和2年 5月13日
	令和2年 6月 9日	令和2年 7月 8日
	令和2年 8月 5日	令和2年 9月 9日
	令和2年10月 8日	令和2年11月 6日
	令和2年12月 9日	令和3年 1月 8日
	令和3年 2月 9日	令和3年 3月 9日

9. 五園専門委員会及び研修事業

・下記専門委員会等を随時開催し、業務の円滑な推進と課題の解決に向けた活動を展開した。

○園長協議・園長主任合同協議

期日	令和2年 8月26日	令和2年 9月28日
	令和2年11月18日	令和3年 1月 7日
	令和3年 1月29日	令和3年 2月 8日
	令和3年 3月 8日	

○研修委員会

期日	令和2年 5月21日	令和2年 6月18日
	令和2年 9月 1日	令和2年12月 7日
	令和3年 1月29日	令和3年 2月19日

○給食研修委員会

期日	令和2年 7月 1日	令和2年10月 5日
	令和2年12月14日	令和3年 1月26日

○事務会議

期日	令和2年 4月 9日	令和2年 9月30日
	令和3年 1月20日	令和3年 3月 8日

<役員・評議員研修への取り組み>

○理事会・評議員会開催マニュアル(Web研修)

期日	令和2年4月1日
会場	子育て支援センターあいあい
出席	常務理事
内容	法改正後の開催状況の点検と留意点 法人監査の指摘事例など

○財務研修

期日	令和2年11月25日
会場	本荘グランドホテル
出席	役員10名、評議員7名、各園長
内容	事務局より、令和元年度決算に係る財務指標の説明を受け、石脇福祉会の財務状況や類似法人との位置付け、経営課題を把握する。

<職員研修への取り組み>

◇職員の資質向上を目指して

※「子どもの心を見つめ合い、保育の質を高めよう」をサブテーマに専門職としての力量と自信を深めるための研修を実施

○公開保育

他園の日常の保育を参観し多くの気付きや課題を持つことが出来た。公開保育後の話し合いを持ち率直な意見交換の場となった。自園や自身の保育にどう活かされているか、子どもの姿への繋がりなどを捉えているかが課題。

○保育・食育体験

3年目までの職員を対象。他園での保育や食育を実体験する研修機会として定着。受け入れ先でのカンファレンスで、自園の保育に活かそうという意識の変化が出てきており、給食体験では、後日、自園での工夫した掲示につながった。今後P D C Aの実施による継続的な見守りが課題。

○職務別リーダー研修

全体での合同研修が難しい状況から職務別リーダーの研修とする。役割・取り組み・課題などの情報交換により、実践例などは共有できたが、振り返りや課題を明確にした見通しまで深めることが難しい。焦点化が課題。

○育成計画・フォロー研修・自己評価

新任職員の育成計画を基に、社会人としての基本的な心得、仕事のやりがいなどを感じられる指導方法、関わり方を学ぶ中で、特に、新任者が安心して働ける環境作りのため、丁寧な見守りを継続することの重要性を確認できたのは意義深い。新任者・育成担当者をフォローするため、法人・各園全体での共通理解が必要。

◇外部研修派遣

2年度は、コロナ禍の影響により外部への派遣研修は殆どが中止となったため、キャリアアップ研修などは、関係機関からリモートでの研修に切り替えられた。在園での研修であることから、単位を満たしていない職員を優先して受講に努めてきた。

10. 地域交流事業

◆コロナ禍により、地域交流事業は、中止や縮小が相次ぎ、持ち方を工夫しての実施を探る。

○ふれあいの日園庭開放(未就園児)・・・中止

○小・中・高生のボランティア、職場体験学習受入・・・一部実施

○看護・保育・栄養短大等実習生受入・・・感染縮小時期に実施

○高校生との交流会・・・縮小

○老人クラブとの交流・・・中止

○田植え、稲刈り体験・・・縮小

○ヤートセ交流会

○石脇地区各種団体交流会

○地区文化祭・敬老会・お祭り等への参加・・・中止

○地域との総合防災訓練・・・縮小

○交通安全キャンペーン

○人権学習会(人権擁護委員会/各園)

○未就園児の集い(石脇地区民生児童委員実施事業への協賛)・・・回数減で実施

○七夕・ハロウィン・クリスマス地域交流・・・縮小

○あいあい遊び講座、子育て相談・・・内容を工夫して実施

○絵本読み聞かせボランティア受入

○ありがとうの会・・・縮小して実施

○各小学校体験入学、小学校運営協議会、高校評議員会、幼保小連絡協議会など

◆事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。